

新たな出会い、心待ち

バレエコンクールプリ・ド・カナザワ



きょう開幕

金沢を舞台に若手ダンサーが技術や表現力を競う第2回全国バレエコンクール「プリ・ド・カナザワ2017」(北國新聞社主催)は16、17日、金沢市文化ホールで行われる。開幕を控えた15日、金沢入りした審査員3

人が会場を念入りに下見し、魅力あるダンサーとの出会いに期待を寄せた。コンクールでは、協力バレエ団の谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団、バレエシヤンプルウエスト、牧阿佐美バレエ団(五十音

順)の指導者や芸術監督ら8氏が審査する。審査委員長はバレエシヤンプルウエスト総監督の今村博明さんが務める。

審査員は舞台の広さや照明の当たり具合などを確認した。今村さんは「どんなに素敵なダンサーが見られるか楽しみだ。審査するバレエ団が一つ増え、より広い視野で参加者を見てあげられる」と開幕を心待ちにした。

コンクールは小学生(4〜6年)、中学生、高校生、シニア(高校卒業〜29歳)の4部門で競う。石川の42人、富山の26人など17都府県から161人がエントリーした。16日午前11時から予選、17日午前10時から決選が行われる。入場料は全席自由で、予選1千円、決選1500円となる。



プリ・ド・カナザワの会場を下見する今村さん(中央)ら審査員。金沢市文化ホール